

令和 6 年度 薬学部卒業生就職先へのアンケート調査結果について

1. 背景

岩手医科大学では、本学における教育の質保証を目的として、平成 30 年に「学習成果の評価検証方針及び指標」を定め、これによって 3 つのポリシーに基づいた教育が実施されているかを検証することとしている。

ここでは、指標の一つである「卒業アンケート」について、令和 5 年度卒業生が臨床研修医・臨床研修歯科医・薬剤師・看護師等として従事している医療機関等を対象に実施したアンケート調査結果について報告する。

2. 概要

- 調査対象 令和 5 年度卒業生が薬剤師として従事している医療機関等
(調査対象数： 28)
- 調査期間 令和 6 年 8 月～9 月
- 実施方法 インターネット (Google Form) を利用した Web アンケート
- 質問内容 ①学部ごとの学位授与方針 (DP) に対する本学卒業生の実態について
②本学の教育に求める内容について

3. 結果

回収率 42.9% (12/28)

協力機関 シップヘルスケアファーマシー東日本株式会社、みどり薬局、株式会社アイセイ薬局、株式会社ウイング、協和病院、いちご薬局、株式会社カワチ薬品、日本調剤株式会社、株式会社オオノ、日本赤十字社東北ブロック血液センター、ウエルシア薬局株式会社 (匿名希望機関以外)

詳細は別紙の通り。

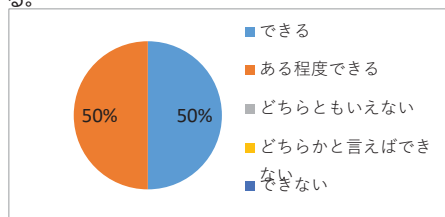
4. 総括

- ・ディプロマ・ポリシーの達成度に対する評価は全体的に高く、特に「倫理観」「医薬品の適正な扱い」については肯定的な評価が 100%に達している。
- ・本学の教育に求めるものとして、「コミュニケーション能力」が最も高く、次いで「汎用的な能力」「協調性」などが続く。
- ・職場での人間関係の構築、多職種連携を実施する上でのコミュニケーション能力を期待するコメントが寄せられている。

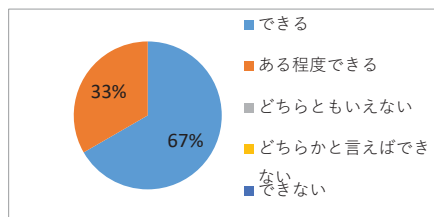
薬学部

Q 1. 岩手医科大学薬学部では、以下の10の資質を身につけた者に学位を授与する方針を掲げております。貴医療機関等に就職した本学卒業生がそれぞれの資質をどの程度身につけていたか評価をお知らせください。

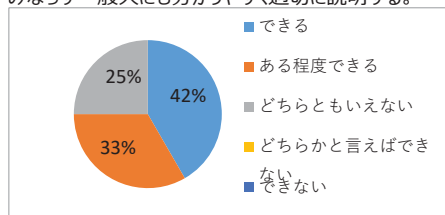
医療人としての倫理観を備え、患者・生活者の視点を考慮し行動する。



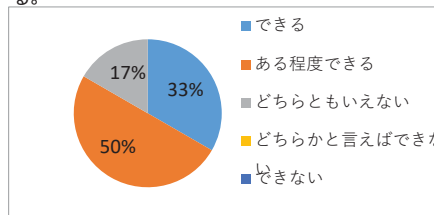
医薬品を理解して適正に取り扱う。



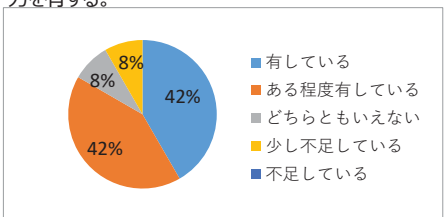
医薬品および関連する法規・制度、公衆衛生等について、医療人のみならず一般人にも分かりやすく適切に説明する。



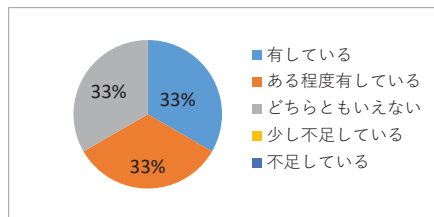
適正な医療の提供および国民の健康維持・増進のサポートに貢献する。



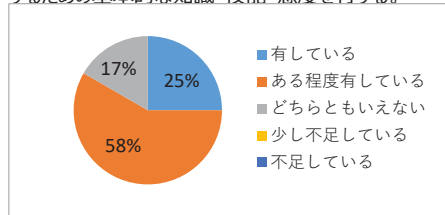
チーム医療において、患者・生活者、他職種から情報を適切に収集し、これらの人々に有益な情報を提供するためのコミュニケーション能力を有する。



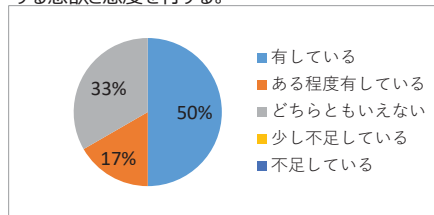
医療施設や地域におけるチーム医療に積極的に参画し、相互の尊重のもとにファーマシューティカルケアを実践する能力を有する。



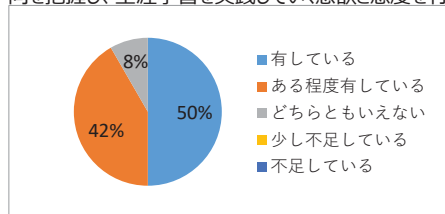
薬学・医療の進歩と改善に資する研究を遂行する意欲とそれを実践するための基本的な知識・技能・態度を有する。



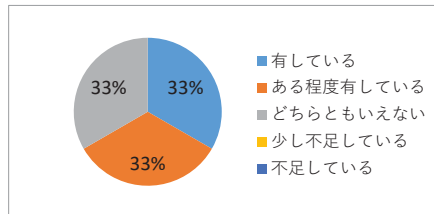
医療における問題点を抽出し、科学的・論理的に問題解決を実践する意欲と態度を有する。



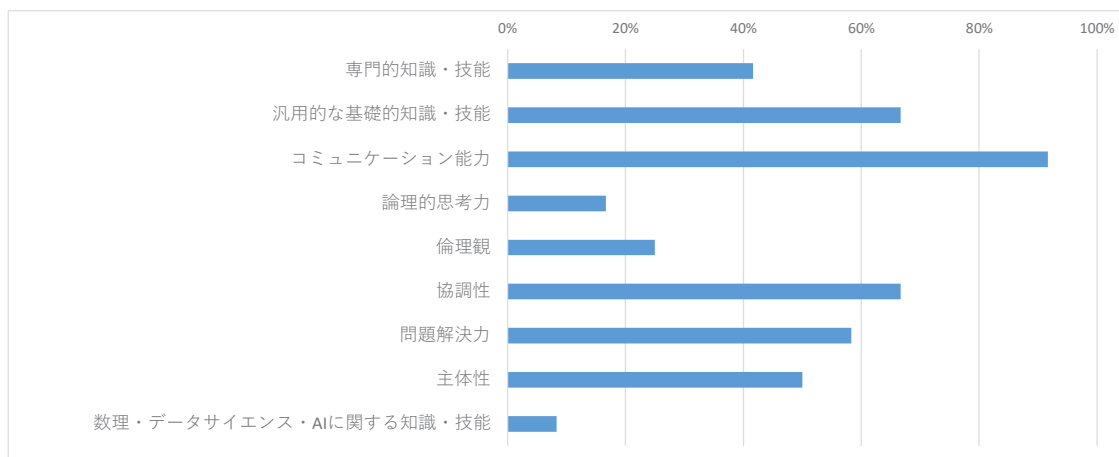
薬学・医療の進歩に対応するために、医療と医薬品を巡る社会的動向を把握し、生涯学習を実践していく意欲と態度を有する。



次世代を担う医療人を育成する意欲と態度を有する。



Q 2. 本学の教育に求めるものについてお伺いします。



その他 特になし

Q3. コミュニケーション能力を選択された場合、特にどのような場面で期待するか教えてください。(複数選択可)

